

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和4年7月1日(2022.7.1)

【公開番号】特開2021-21687(P2021-21687A)

【公開日】令和3年2月18日(2021.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2021-008

【出願番号】特願2019-139663(P2019-139663)

【国際特許分類】

G 01 C 19/5607(2012.01)

10

H 01 L 41/113(2006.01)

H 01 L 41/053(2006.01)

【F I】

G 01 C 19/5607

H 01 L 41/113

H 01 L 41/053

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月22日(2022.6.22)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基部と、梁部を介して前記基部と接続されている支持部と、を含む支持基板と、
前記基部と重なっている素子基部と、前記支持基板の側に位置している第1面及び前記第1面の反対側に位置している第2面を含む駆動腕と、を含む振動素子と、
を含み、

30

前記駆動腕は、

前記第1面に配置されている駆動定電位電極と、
前記第2面に配置されている駆動信号電極と、
を含むことを特徴とする振動デバイス。

【請求項2】

請求項1において、

前記振動素子は、

検出信号電極と、

検出定電位電極と、

が配置されている検出腕を含むことを特徴とする振動デバイス。

40

【請求項3】

請求項2において、

前記支持基板は、前記振動素子と電気的に接続されている配線を含むことを特徴とする振動デバイス。

【請求項4】

請求項3において、

前記配線は、前記検出信号電極と電気的に接続されている検出信号配線を含み、

前記検出信号配線は、前記梁部に配置されていることを特徴とする振動デバイス。

【請求項5】

請求項4において、

50

平面視で、前記検出信号配線は、前記駆動定電位電極と重なっていることを特徴とする振動デバイス。

【請求項 6】

請求項 5において、

前記支持部は、第 1 支持部と、第 2 支持部と、を含み、

平面視で、前記基部は、前記第 1 支持部と、前記第 2 支持部と、の間に配置され、

前記梁部は、

前記基部と前記第 1 支持部とを接続している第 1 梁部と、

前記基部と前記第 2 支持部とを接続している第 2 梁部と、

を含むことを特徴とする振動デバイス。

10

【請求項 7】

請求項 6において、

前記配線は、

前記駆動定電位電極と電気的に接続されている駆動定電位配線と、

前記駆動信号電極と電気的に接続されている駆動信号配線と、

を含み、

前記駆動定電位配線は、前記第 1 梁部に配置され、

前記駆動信号配線は、前記第 2 梁部に配置され、

前記検出信号配線は、前記第 1 梁部に配置されていることを特徴とする振動デバイス。

20

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の振動デバイスと、

前記振動デバイスの出力信号に基づいて信号処理を行う信号処理回路と、

を含むことを特徴とする電子機器。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の振動デバイスと、

前記振動デバイスの出力信号に基づいて信号処理を行う信号処理回路と、

を含むことを特徴とする移動体。

30

40

50